



広島西ロータリークラブ会報

No. 2072

THE ROTARY CLUB OF HIROSHIMA WEST

例会日・木曜日 12:30~13:30
例会場・ANAクラウンプラザホテル広島
会長 井原 俊彦
幹事 香川 基吉

事務所・〒730-0011 広島市中区基町6-78
リーガロイヤルホテル広島13F
TEL 082-221-4894・FAX 082-221-4870
E-mail:hwrc@godorc.gr.jp
広島西ロータリー http://www.hwrc.jp/

RIテーマ Reach Within to Embrace Humanity
「こころの中を見つめよう
博愛を広げるために」

本年度会長テーマ
「ユーモアでロータリーに
もっともっと笑顔を」

「雑誌 月 間」

2012年 4 月 26 日 第2048回例会

◆ 会長時間 ◆

井原会長



ロータリアンの脱偏差値性
で新世代に応援を

皆さんこんにちは。来週は
ゴールデンウィークに入り、
例会が休みとなります。12
人の広島西RCメンバーに加

わって、バンコクで開かれるRI国際大会に行っ
てきます。

さて私は常々感じているのですが、ロータリア
ンには多様なメンバーがいるおかげで、国際社会
と地域社会で多種多様な貢献ができています。広
島西RCメンバーの多彩な能力、皆の異なる気質
をみるにつけて人間の色々な能力は偏差値では測
れないとつくづく思います。

世の中で成功し、有意義な生活を送っているの
は偏差値では測れない能力を発揮している人達で
す。ロータリアンがまさにそうではないでしょ
うか。それぞれの場所で個性と能力を発揮してい
るロータリアンが、若者の潜在能力を伸ばそうとす
る教育を支援してゆくことは、ロータリーの大切
な社会貢献といえます。

若緑の頃、インターアクトやローターアクト支
援など新世代奉仕を行うにあたって、若者の誰に

でもある個性や能力をプラス思考で輝かせるよう
な教育、指導を応援してゆきましょう、というよ
うな文章を考えていましたが、一昨日、色々な花
が咲き、緑が増えてくる5月が新世代奉仕月間と
勘違いしていたのにやっと気付きました。5月と
7月は、何々月間というのがないのです。

ありがとうございました。

● 会務報告

香川(基)幹事

※次週例会は祝日のため休会となっております。

● 委員会報告

出席報告 尾形委員

本日(4月26日・木曜日)				
会員数	85名	出席者	68名	
欠席者	17名	ご来客	1名	
ご来賓	0名	ゲスト	0名	
			計	69名
前々回(4月12日・木曜日)				
			出席率	100%



※ 次年度瀬尾副幹事

例会終了後、4階「カメリア」において次年度
第2回クラブ協議会を開催いたしますので、理
事会役員委員長は出席願います。



奥様お誕生日おめでとうございます。

(8名)

梅田君	幸恵夫人
教蓮君	法子夫人
大本君	英子夫人
三浦君	美子夫人
安部君	優秀夫人
米山君	栄子夫人
諏訪(昭浩)君	香織夫人
尾形君	知子夫人

👑3月決算月おめでとうございます。

(23名)

児玉君	(医・社)仁和社会児玉病院
武田(英)君	広島ガス(株)
中村(秀)君	太陽機工(株)
土井君	(株)SANYO KOUKOKU
小島君	(株)栗本ホールディングス
松岡(幹)君	(株)松岡製作所
園尾君	戸田工業(株)
上田君	上田昆布(株)
竹本君	(株)ヒロック
中村(哲)君	カクサン食品(株)
大本君	大本・三宝・桑原法律事務所
森脇君	(宗)住吉神社
羽井君	内外飼料(株)
浜田君	浜田木材(株)
藤田君	(宗)浄土宗浄国寺
坂田君	(有)うを久
高橋君	(株)広島銀行
中野君	(医)古江 中野眼科医院
瀬尾君	(株)クマヒラセキュリティ
荒川君	アイワ建設(株)
佐伯君	広島ガス株式会社
梶君	広島菱重興産(株)
武田(弘)君	(株)日立ビルシステム中国支社



●スマイルボックス SAA 柴田委員

😊創業60周年おめでとうございます！

渋谷君(自主申告・大枚)

(株)シブヤは1952年農業機械販売の代理店として創業。69年にコンクリート削孔機「シブヤダイモドリル」の製造販売を開始した事が事業拡大の転機となりました。全国の主要都市に営業所を開設し、現在では業界トップのシェアを獲得しています。機械部分の製造販売のみ

ならず、刃物であるダイヤモンドツールも製造販売を開始した事が更なる事業の発展に結びついたものと思います。また、東日本大震災で東北地方は大きなダメージを受けましたが、当社もその持ち得る企業力で復興の力になればと考えております。今後とも宜しくお願い致します。

😊息子が社会人になりました。 新原君

(自主申告・トリプル)

長男太郎が4月1日に広島信用金庫に入庫し、社会人デビューしました。ネクタイの結び目を毎朝チェックするのが日課となっております。約1ヶ月経ちますが、息子のスーツ姿にまだ違和感があります。今は祇園支店に勤務しておりますが、ご縁がありましたら宜しくお願い致します。

😊ゴルフで、ワンツー フィニッシュ

のりあき
村上智亮君、原君

4月21日、広島CC西条コースで開催された某銀行のゴルフコンペで村上智亮君がネット2アンダーで見事優勝され、同じくネット1アンダーで優勝を確信していた原君は1打差で準優勝。村上智亮君はダブルで、原君はシングルでご出宝をお願いします。

😊ナイスショット！ 梶本君、中村哲朗君

4月22日、広島GC鈴ヶ峰コースの月例杯C組で梶本君が優勝。また、B組では中村哲朗君が準優勝。梶本君はダブルで、中村哲朗君はシングルでご出宝ください。

😊紫風会作品展 藤田君、木本君、羽井君、沖君、

村上智亮君、安部君、園尾君、小橋君

4月16～18日、善光寺・松本での写真はいづれも素晴らしい瞬間を写されています。今後ともベストショットを祈念いたします。尚、四つ切で展示された小橋君には、ダブルでご出宝頂きました。

●スマンボックス

😊不適切な発言をお詫び申し上げます。 森信君

先週の例会でクラブの奉仕のあり方等について解説を致しましたが、その中で不適切な発言をしてしまいました。誤解を招く様な表現を致しました事、申し訳ございませんでした。ダブルで出宝いたします。



●経済研究会

代表世話人 沖 清
世話人 宇田 均

当研究会は国内のみならず、海外を含めて、産業や文化、観光といったあらゆる面についてマスコミ報道や評論家の見解を自分達の五感を通じて本当にそうなのか、それとも別の見方があるのでは？という事を実体感し、今後のRC活動や日頃の業務に活かしていこうとして活動しています。

数年前参加しました石垣島や宮古島は沖縄本島にはない素朴ではあるが、美しい海を初めとした自然の素晴らしさ、温暖な気候は貴重な観光資源であるという事を初めて体感する事ができました。

又、一昨年に参加しました奥能登で見た棚田の風景と打ち寄せる日本海の荒波は過疎の町にとっては貴重な観光資源の一つで、能登空港の利用促進の為、石川県が行っている航空会社への座席保証制度にも関連しているのだな、と実感する事ができました。

今年は、来週末から開催されるバンコクでの国際ロータリーの大会に当研究会からも多くの方が参加されます。私も数年振りのバンコクです。発展するアジアは一年も経てば街の景色も大きく変わっていた、というのも珍しくありません。シュリンクする日本経済との違いが何処にあるのか、どうすれば自分達の仕事に活かしていけるのか、ヒントの一つでも見つける事が出来ればいいな、と思っています。

最近は参加されるメンバーも限定され、少なくなっていますが、こういった報道だけではわからない、現地に行かなければ体感できない、五感で知る経済を会員と時には温泉につかりながら、時には現地での食事をしながら親睦を深めつつ、体験出来るのが当研究会であると思っていますので、是非多くの会員の入会を希望しております。



●紫友会

代表世話人 田中 健志
世話人 松岡 輝明
中山 敬一

紫友会の活動内容としましては、毎月一回の例

会と年に一回の遠征ゴルフです。また、毎年7月例会では月例優勝者による会長杯取り切り戦も行っております。現在は41名の会員の方々にご入会いただいております。

ご存じのとおり、ゴルフとは性別、年齢に関係なく楽しむことのできる唯一のスポーツと言っても過言ではありません。もちろん屋外スポーツですから天候に左右されることもあります。年間を通じてプレーをすることで四季の移ろいやプレーの合間に訪れる「一期一会」を感じ取ることができる貴重な競技でもあります。

何と云っても、紫友会入会最大の特典は毎月の例会で、ほぼ毎回違う会員の方とプレーをしていただきますので、まんべんなく多くの広島西ロータリークラブの皆様と交流でき、新睦を深めることができるという点です。

これまでのご自身がお持ちのゴルフ感が変わるかもしれない、そんな新しい出会いが待っているかもしれません。

新たに会員になられた皆さん。また現在ご入会いただいている会員の方々にも、ロータリー活動を楽しくするため、健康維持のため、紫友会へのご入会をお待ち致しております。



●紫風会

代表世話人 藤田 明信
世話人 羽井 紀行

写真撮影の好きな人達の同好会「紫風会」「紫の風の会」です。古い会員の中には、あれは「紫風会」だよ、と云われる方もいます。確かに撮影旅行に出掛けますと、大抵温泉に宿をとり、朝から晩まで盃を手にし、その合い間に写真を撮ることになります。これは日吉さん隅田さんがご健在だった頃からの伝統です。

紫風会の年間行事は総会と撮影旅行です。総会も酒と料理の美味しい処をチョイスして催されます。

昨年の撮影旅行は花巻温泉に宿泊し、東北旅行を巡り、仙台空港から帰広しました。危機一髪で東北大震災から難を逃れました。浄土が浜での虹は何の予兆だったのでしょうか。

今年の撮影旅行は4月16・17・18日の3日間7名の参加で行なわれました。湯田中温泉に泊り、善光寺・安曇野・松本城等を巡ってまいりました。酒好きの安部さんがインフルエンザにかか

り、いま一つ盛り上がらない撮影会となりました。

本日その時の作品を展覧いたしておりますのでご覧下さい。

紫風会では同好の士を募っております。こぞってご参加下さい。



●紫釣会

代表世話人 松岡幹太郎
世話人 荒川 慎吾

紫釣会は西ロータリークラブにおいて伝統と歴史のある同好会であり、多数の人数を抱え盛大に活動されていたとお聞きしました。

現在、会員は8名、オブザーバーは2名ないし3名、会費は年間12,000円です。例会は基本的に年4回を目標に頑張っております。又、会員による自主トレは随時活動しております。目の前には瀬戸内海と言う日本でも有数の釣り場があり、四季折々にいろいろな魚を釣る事が出来る環境にあります。

活動は現在船釣を基本に旬の魚をみんなでワイワイ楽しく釣りおいしくいただくのをモットーに考えて活動しております。例会は大型高速遊漁船をチャーターし、いろいろな釣りにチャレンジしております。遊漁船は乗船定員は最大13名、船には釣具のレンタルもあります。

昨年の例会実績をご紹介します。10月は安芸灘にて五目釣(メバル、チダイ、アジ)、11月~12月は周防灘にてタチウオ、ハゲ、4月は周防灘にて大メバル、5月~6月は伊予灘遠征にて大アジ、サバ、7月~8月は周防灘にてイサキ、チダイでした。自然を相手にしますのです、天候も厳しい時もありいつも大漁とは限りませんが1日船に乗り会員の皆様と楽しく自然を満喫するのも楽しく気持ちの良いものと思います。又、初心者も大歓迎です。会員のご家族の参加も可能です。釣名人の会員もいらっしゃいますので指導の方も大丈夫です。

会員の皆様には過去に釣を経験された人も多数おられると思いますが、今また紫釣会にて仲間と楽しく釣をしてみたいかでしょうか。最初はオブザーバー参加でもかまいません。登録していただければ、メール、FAXにて案内を送ります。ぜひとも多数の参加をお願いします。



●野球同好会 (バイオレッツ)

代表世話人 小島 謙介
世話人 坂田 恵希
土井 英幹
柴田 脩司

バイオレッツは現在、部員数が22名。総監督は小島さん、監督は坂田さん、キャプテンは土井さん、世話人は柴田が務めております。バイオレッツは創部13年目を迎え、RC公式戦と練習試合を合わせて、年に3~4試合をこなしております。試合以外では、マツダスタジアムでのカープ観戦を、約10年前から続けており、また年末には、忘年会も行っております。昨年の忘年会は、出席率が何と100%。益々、フレンドリーに楽しく同好会活動を続けている同好会です。13年間の成績は分かっているだけで19勝19敗。お知り合いに、野球経験者で若い方がおられましたら、是非、ご紹介下さい。宜しくお願い致します。



●紫輪会

世話人 金本 善行
森信 秀樹

紫輪会(ロータリー研究会)は平成24年4月現在 会員は29名で構成され、世話人は金本善行、森信秀樹が行っています。

紫輪会は1994~1995年度諏訪昭登会長年度に「楽しくロータリーを学ぶ会を組織し開催してはどうか」との提案を受けて、日吉富美夫会員、今田博久会員、尾鍋隆会員を発起人として、1994年(平成6年)7月28日に発足しました。

例年、年4回程度開催され、毎回約30分程度ロータリーに関する卓話を聴いた後、飲食をしながら意見交換をするのが恒例となっています。食事とアルコールを取りながらの意見交換は、気軽に先輩会員から西ロータリークラブのこれまでの活動やロータリーに関する幅広い知識などを直接聞くことができ、近年入会者や役員予定者などにとっては、大変有意義な会となっています。

近年、国際ロータリーでは奉仕の考え方や戦略計画など時代の変化に伴う改革が進められていますが、これら「流行」を追う一方で、今なお語り継がれる2大モットーや決議23-34など「不易」の部分、改めて読み直すことも大切であると考

えます。クラブ外での研修に匹敵する内容を、ここではわかりやすく得ることができます。

世話人は慣例でクラブ幹事を終えると同時に就任することが続いており、この世話人を終えると同時に翌年はロータリー情報委員長に就任することが続いています。したがってこの会のお世話そのものが、われわれ自身の知識の棚卸にもなっています。

新会員へのロータリー情報では同好会の紹介とともに特に紫輪会への入会勧誘を行っていますが、これは新会員へのロータリー情報のフォローアップが可能であり、連続的な知識の習得、そのスキルアップや良きロータリアンの育成にも貢献するものと思われまます。

新会員にこだわらず、気軽に入会されロータリーへの造詣を深めることは大変有意義なことと思わますので入会をおすすめします。



●西陶会

世話人 前橋 寛

陶器を自分で製作する同好会です。

焼き物にもいろいろあります。中国地方では山口の萩焼、岡山の備前焼が有名ですが、広島には宮島焼きがあります。神砂焼(しんしゃやき)とか御砂焼(おすなやき)とも呼ばれていて、ご想像の通り、宮島の砂を粘土に混ぜて焼いたものです。

陶芸を教えてくれる先生は川原圭齋先生で宮島焼きの第一人者であり、広島西ロータリークラブのOBでもあります。

例会は年に1回から2回。宮島口の川原先生の工房で行います。作品作りはろくろを使わずに手びねりで行いますので、手作り感溢れる作品を作ることができます。多少いびつな形になっても先生が巧みに修正してくれるので心配は要りません。

例会を楽しんだ後は、当クラブ会員の上野さんのお店、うえのの2Fで他人吉といいますが、こちらで美味しい食事を頂くのが恒例となっております。

メンバーは諏訪昭登さん、安部さん、小島さん、三浦さん、沖さん、武田さん、加藤さんそして私です。参加はメンバーだけでなく奥様やお孫さんも参加できますので家族で楽しんでもらえたらと思います。

私も茶碗やマグカップや皿やいろいろ作りました。陶器というより土器に近い出来栄えですが、日々の生活の中で使っています。陶芸教室ではありませんので、是非気軽に陶芸を楽しんで下さい。

BOXにご案内しております通り、5月27日(日)に例会を行いますので、自分の手で器を作りたい方は是非参加してみてください。



●紫雀会

代表世話人 岡田 有博
世話人 木本 弘三

紫雀会は毎月例会で月例会の報告をさせていただいていますので、大半の方がご存知だとは思いますが、麻雀の同好会です。

活動としては毎月原則として第3木曜日に月例会を開催しています。

半年に一度は高田ビルのシサール麻雀室で月例会をしますが、この際は沢山のメンバーに参加していただいています。

麻雀というとお金を賭けるというダークなイメージがありますが、この月例会は純然たる競技としての麻雀を楽しむ会として開催していますので、お気軽にご参加下さい。

新会員の皆さんに関わらず中堅・ベテラン会員の皆さんも紫雀会は広く入会、再入会を募りますので少しでも興味をもたれた方は声をかけてください。



●囲碁同好会

世話人 小田 清和

囲碁同好会は、毎月第4木曜日、ロータリーの例会終了後、ANAクラウンホテルの4階で、囲碁例会を開催しております。例会日には、広島在住の日本棋院所属の山本賢太郎プロ(5段)に、指導碁を打ってもらっています。置石は、各人の自由で、現在のところ、4子置いている方から9子置いている方まで、いろいろおられます。また、初心者の方は、13路盤での置碁で指導を受けることもできますので、棋力に関係なく、参加できます。また対局会場には、だいたい5~6面は置いてあり、同時に打っていただきますので、前の方

が終局するまで待つということはありません。又、打ち終わったら、その一局の中でどこが良かったとか、どうすれば良かったのかについて、対局者毎に解説していただけるので、本人にとって大変勉強になり又周りで聞いているだけでも勉強になり、囲碁が上達することは間違いありません。

そのほかに、7月第1土曜日は副会長杯取切戦を、又、12月第1土曜日は、忘年囲碁大会を開催しております。

対外試合とすれば、毎年2月第1土曜日に、西南RCクラブと対抗戦を行い、懇親会を開催しております。対抗戦は、団体戦で、参加者全員の対戦成績で、勝敗を決しています。対抗戦で楽しいのは、懇親会で行われる連碁という対局です。これは、1局を、はじめから終局まで、全員が参加して、それぞれが3手くらいずつ順番に打っていくものです。そして、棋力の高い人、低い人が、誰にも相談することなく自分の思いで打つものですから、周りで見ているものは、いろいろもどかしさを抱えながらうなったり、歓声を上げたりで、和やかなひとときを過ごしています。

囲碁は、頭の運動であり、指先の運動であると紹介されることもあります。何よりも現実から切り離された世界に浸って、自分の力で、ひたすら勝負に挑む時間を過ごすことができるという楽しさを備えたゲームだと思います。

是非、本日の例会から参加いただき、碁を楽しんでください。そして、楽しいなと感じられたら、是非とも囲碁同好会に入会していただければと思います。



● 西紫音楽同好会

代表世話人 井原 俊彦
世話人 梶本 政明

西紫音楽同好会は、昭和55年設立されて今年で32年になります。

「健康増進と自然のふれあい」を目的とした同好会と聞いております。

クラブ会員数は現在14名です。活動は年4回程度弥山に登っています。春は花見、夏は家族会として三段峽他夏山に行っております。

山登りレギュラー会員は3名程度です。今一度、健康増進活動として弥山に挑戦されてみませんか？



● 西紫音楽同好会 (West Purple Sounds)

代表世話人 井原 俊彦
世話人 梶本 政明

ウエスト・パープルサウンズ(WPS)は平成14年(2002年)6月に、在広ロータリークラブ音楽祭が開かれたときに急造で発足しました。記憶が定かではないのですが、ベース：浜井さん、サイドギター：清田さん、橋本さん、スチールギター：井原、ウクレレ：中田さん、村上智亮さん、ドラムス：金本さんをバックに斉藤さん、三浦さん、諏訪さん、生田さんの4人の歌で主にハワイアンを合奏しました。

その後もっとも重要なサイドギターの清田さん、橋本さんが抜け、グリークラブで活躍していた生田さんも退会したため、せっかく諏訪さんが命名した、西のほうから聞こえてくる高貴な音色という意味を持つ広島西RC・West Purple Soundsも消えていました。在広ロータリークラブ音楽祭も無くなりました。

平成17年(2005年)サイドギターを弾く梶本さんが入会してきて、また始めようということになり、ささやかにやってまいりましたが、尺八：大本さん、フルート：村上昇さん、チェロ：佐伯さんが加わることによって、立派な西紫音楽同好会となりました。演歌、童謡、フォーク、ハワイアンなど、なんでも適当に歌を中心に演奏するというスタイルとなり、昨年は中岡弘夫、柴田脩司、梶川博、松岡輝明という新人歌手が誕生しました。

コンセプトは、なるべく多くの広島西RCのメンバーが色々な楽器を持ち寄り、歌を楽しもうということです。下手でもこんな歌を唄いたい、こんな楽器で加わりたいという方は是非お申し出ください。

会費は現在は無しで、何か演奏の機会があるときだけの活動です。

● 卓話予告

日時	テーマ
5/17(木)	インターアクトクラブの活動と国際理解 鈴峯学園インターアクトクラブ顧問 西村正美先生